

授業科目：歯科麻酔学

## 学習目標

英語のテキストを使用して、英語に親しむと同時に麻酔関連領域の知識を整理する。

■教科書： 特になし（資料配付）

■参考書： Miller's Anesthesia (6th edition)

■ワイズアワー： 大井 良之 水曜日 17:00～19:00

岡 俊一 水曜日 17:00～19:00

小柳 裕子 水曜日 17:00～19:00

■成績評価： 口頭試問

■注意事項：講義に関連する教科書と参考書を持参すること。資料の準備のため、9月20日までに oi.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp へメールで確認すること。

■準備学習：授業テーマに合致した内容を予習し、専門用語の意味を理解しておくこと。

授業日・担当者	テーマ	具体的内容
第1回 10月2日(水) 大井 良之	麻酔の歴史	麻酔の歴史を知ると共に麻酔薬の変遷を理解する。
第2回 10月9日(水) 大井 良之	薬理	麻酔薬の基礎となる薬理動態を知る。
第3回 10月16日(水) 大井 良之	心肺生理	酸素受給の基礎となる呼吸と循環を学ぶ。
第4回 10月23日(水) 大井 良之	自律神経	生体防御の基礎となる神経機構を学ぶ。
第5回 10月30日(水) 大井 良之	解剖	生体における体液の役割を理解する。
第6回 11月6日(水) 小柳 裕子	吸入麻酔	臨床における吸入麻酔薬の位置づけを知り、麻酔薬の吸収と排泄の動態、並びに生理反応を理解する。
第7回 11月13日(水) 小柳 裕子	静脈麻酔	静脈麻酔薬を薬理的に分類して、それらの特徴を理解する。
第8回 11月20日(水) 小柳 裕子	麻薬	麻薬の作用、副作用のメカニズムを学ぶ。
第9回 11月27日(水) 小柳 裕子	局所麻酔薬	局所麻酔薬の薬理作用を理解し、効果発現と副作用発現のメカニズムを学ぶ。

授業日・担当者	テーマ	具体的内容
第10回 12月4日(水) 小柳 裕子	筋弛緩薬	筋弛緩薬の変遷と作用機序を学ぶ。
第11回 12月11日(水) 岡 俊一	術前評価	麻酔に影響を与える患者背景を理解する。
第12回 12月18日(水) 岡 俊一	心機能評価	循環に影響する麻酔薬と患者背景との関連を学ぶ。
第13回 12月25日(水) 岡 俊一	麻酔選択	手術部位，患者背景から最適の麻酔を選択する基本を学ぶ。
第14回 1月8日(水) 岡 俊一	モニタ	麻酔中に患者から発せられる情報をいかに解釈するかを学ぶ。
第15回 1月15日(水) 岡 俊一	心肺蘇生	生体が危機的状況に置かれる際の病態生理を理解し，対処の根拠を理解する